

報 道 資 料

平成30年6月15日

地域振興部市町村振興課行政係

0742-27-8419(内線2252)

担当：酒井・越智(総括)、山口(給与)、浅井(定員)

県内市町村の定員と給与の状況について（平成29年）

平成29年の「地方公共団体定員管理調査」及び「地方公務員給与実態調査」の結果について、県内市町村の状況を全国比較等により発表します。

(参考) 冊子 グラフ・図表編

資料 1	平成29年全国市区町村における奈良県内市町村の人口1千人あたり職員数の状況	1
資料 2	県内市町村の人口1千人あたり職員数の対前年比較 (H28→H29)	2
資料 3-①	県内12市の職員数の推移	3
資料 3-②	県内15町の職員数の推移	4
資料 3-③	県内12村の職員数の推移	5
資料 4	奈良県内各市町村の職員数の健康診断表	6
資料 5-①	県内12市の部門別職員数の類似団体との比較	7
資料 5-②	県内15町の部門別職員数の類似団体との比較	9
資料 5-③	県内12村の部門別職員数の類似団体との比較	12
資料 6	平成29年全国市区町村における奈良県内各市町村のラスパイレス指数の状況	14
資料 7	県内市町村ラスパイレス指数の対前年比較 (H28→H29)	15
資料 8	奈良県内市町村のラスパイレス指数の推移	16
資料 9-①	奈良県内12市のラスパイレス指数順位の推移 (過去5年分)	17
資料 9-②	奈良県内15町のラスパイレス指数順位の推移 (過去5年分)	18
資料 9-③	奈良県内12村のラスパイレス指数順位の推移 (過去5年分)	19
資料10	奈良県内各市町村のラスパイレス指数の健康診断表	20
資料11	県内市町村の職員数の状況 (H29.4.1現在)	21
資料12	県内市町村の類似団体と比較した部門別職員数の状況一覧	22
資料13	平成28年度部門別職員数の状況 (参考資料)	23
資料14	H29.4.1現在 県内市町村のラスパイレス指数及び関連支給状況一覧	24
資料15	H28.4.1現在 県内市町村別 技能労務職の職員数及び給与の状況	25

1. 定員（職員数）の状況

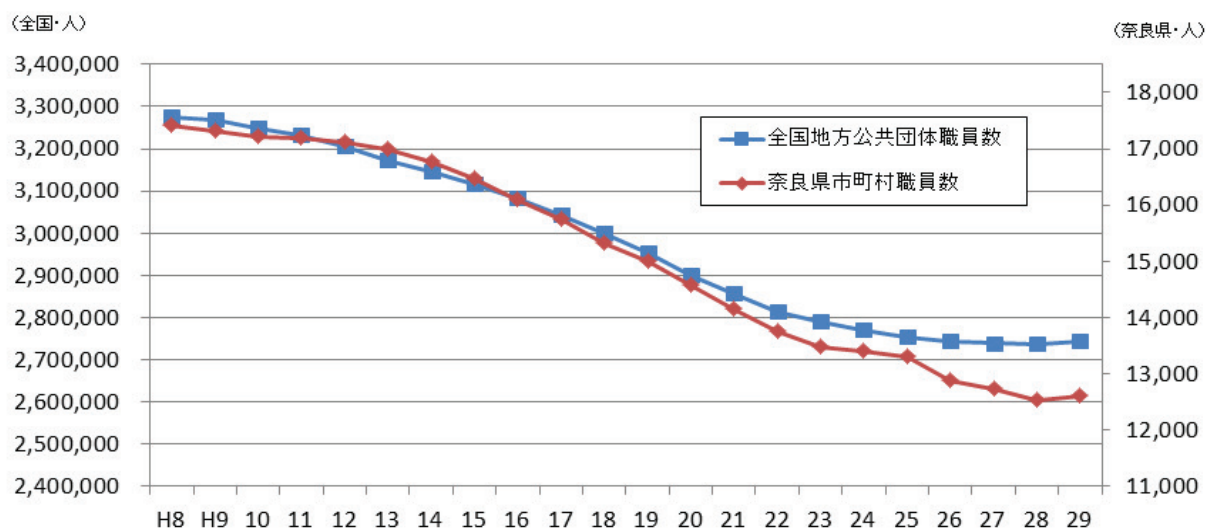
○ 県内市町村総職員数は12,592人（H29.4.1現在）

○ 前年度との比較（H29-H28比較）

増減数 + 75人
 増減率 + 0.60%（全国平均 + 0.19%）

○ 過去5年間の比較（H29-H24比較）

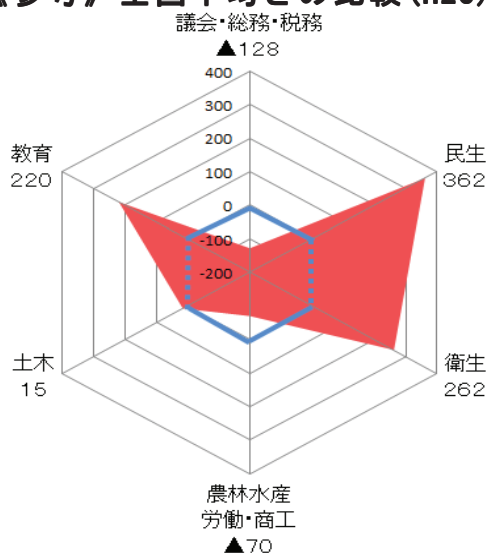
増減数 ▲ 806人
 増減率 ▲ 6.02%（全国平均 ▲ 0.95%）



県内市町村総職員数は、12,592人で21年ぶりの増加。ピークであった平成8年から市町村の削減の努力により4,898人が減少し、総職員数は約3/4(72%)となった。

【参考】全国平均との比較（H28）

全国平均：人口規模と産業構造が似た全国の市町村（類似団体）ごとに算出した職員数の平均値



奈良県内市町村計 超過数 670人

- 〔左記部門計(+661) + 消防部門計(+9)〕
- ・超過人数は、前年と比べて380人増加(※)
- ・類似団体と比べて職員数が多いのは、民生部門、衛生部門、教育部門、土木部門(+362人) (+262人) (+220人) (+15人)
- [主な理由]
 民生部門…公立保育所職員の重点的配置等
 衛生部門…清掃業務の直営等
 教育部門…給食業務の直営及び公立幼稚園の重点的配置等
- ・類似団体と比べて職員数が少ないのは、議会・総務・税務、農林水産・労働・商工(▲128人) (▲70人)

民生・衛生・教育の分野では類似団体と比較して超過傾向にある。民間委託可能な業務についてはアウトソーシングを進めるなど、効率的なサービス提供体制の構築が求められる。

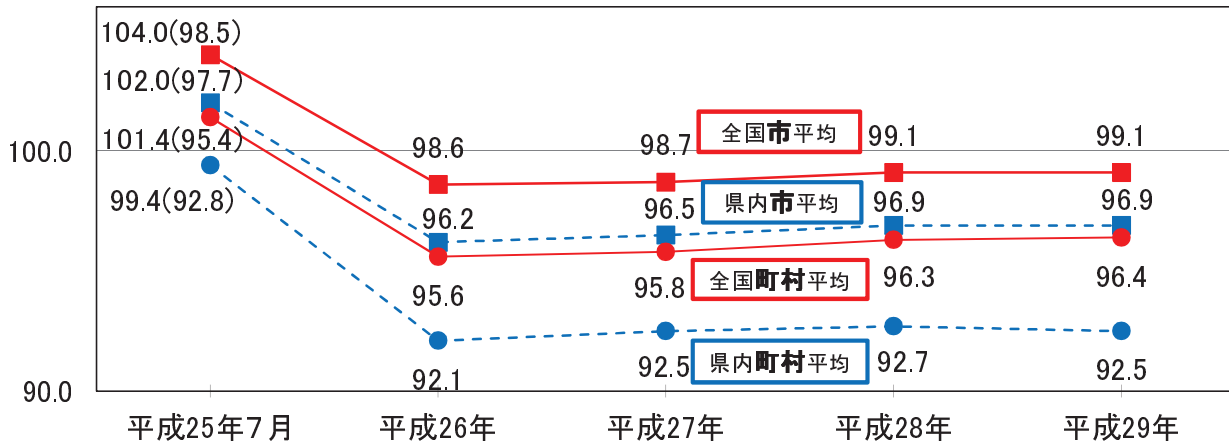
※ 国勢調査の結果、一部市町村で類似団体区分（産業区分）が変動したことによる要因が大きい。

2. 給与の状況

県内市町村のラスパイレス指数は、全体として**全国平均よりも低い傾向**にあるが、一部団体において不適切な給与制度の運用が見られるところであり、是正が求められる。

(1)ラスパイレス指数(H29.4.1現在(過去5年間比較))

- ラスパイレス指数とは、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国家公務員の俸給月額を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で表したものの。
- 県平均のラスパイレス指数は、過去5年間いずれの年も、市・町村とも全国平均を下回っている。



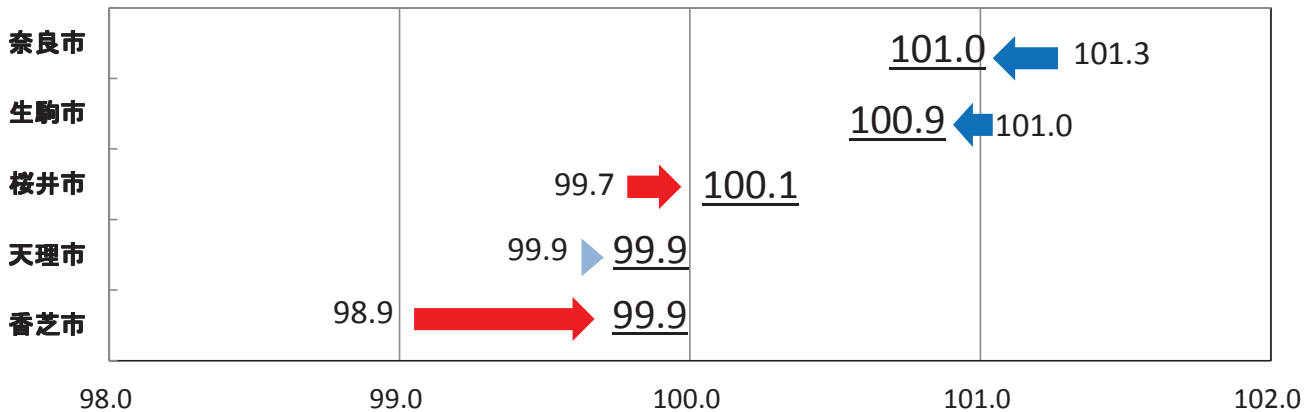
※ 平成25年のラスパイレス指数は、給与改定特例法により、国家公務員給与が平均7.8%減額を反映した値。

※ 平成25年の括弧内の数値は、国家公務員の時限的な(平成24年4月～平成26年3月末)給与改定特例法による措置が無いとした場合の参考値。

(2)ラスパイレス指数が全国平均*(99.2)以上の市町村(5団体)の状況(H28.4→H29.4)

- 全国平均以上の5団体のうち、2団体は前年度より上昇し、2団体は前年度より低下し、1団体は変動無し

* 全国平均: 全地方公共団体の平均値



(3) 給与制度・運用の状況

<p>「わたり」の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたり」とは、職務に対応する級(国の基準)よりも、上位の級に格付けすること。 ・「わたり」の制度がある県内市町村は、1団体(生駒市)※H30年4月1日から給与条例を改正し、「わたり」を解消した。
<p>初任給基準の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国の初任給基準を上回っている市町村は、大学卒で3団体(奈良市、生駒市、宇陀市)、短大卒と高校卒ではそれぞれ6団体(奈良市、生駒市、宇陀市、御所市、平群町、三宅町)。 ・国の初任給基準と比較した給料月額^{の超過額}は、大学卒では6,600円(4号高)、短卒では2,900円(2号高)、高校卒では4,400円(4号高)となっている。 <p>● 国家公務員の初任給基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般職試験(大卒者) 1級25号俸 一般職試験(短大卒者) 1級15号俸 一般職試験(高卒者) 1級5号俸 <p>※下市町は、大卒1級23号給(-5,300円)</p>